

令和4年度 上田市立 長小学校 自己評価シート

学校教育目標		めざす子どもの姿(中期的目標)	総合評価											
かしこく きよく たくましく		◎「かしこく」 自分をふりかえり よく考える子 (知) ◎「きよく」 ともちとかがわり 思いやりのある子 (徳) ◎「たくましく」 すずんで取り組む ねばり強い子 (体)	・日々の授業だけではなく、学年ごとの行事や全校での活動を通して、知・徳・体を向上させよう職員全員で取り組んできた。その結果、4月に比べてそれぞれの児童が、知・徳・体のそれぞれの目標について成長が感じられた。 ・子どもと共に在る教師の存在が前提として、誠実に関わる事で結果的にかしこく・きよく・たくましい子どもの姿になっていった。より子どもの姿を多面的に捉えるためにも、同僚性を発揮して、多角的に捉えていきたい。 ・授業の課題として、子どもたちの疑問を把握し、1時間ごとの学びではなく単元ごとの繋がりのある学びをさらに目指していきたい。											
		今年度の重点目標												
		①よく考える力の育成 → 聴く・読む活動の充実 ②相手に伝える力の育成 → 相手意識の醸成(誰に・何を)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果と課題</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>改善策・向上策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・読む活動では、音読に毎日取り組んだ。聴く活動は、クラスメートの発言をお互いが聴けるようにしたが、傾聴とまではいかなかった。・相手意識を持った活動に興味を持った時は、実現できるようにサポートをした。・食育の学習で、自分たちが課題と感じたことについて、解決策を探る学習に取り組む、積極的に関ろうと考え、保護者や地域の方へ発信することができた。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>・聴く前に、まず自分を認めてくれる人がどれだけいるのかという安心感がもてることから育んでいく。 ・その子の求めることほどこにあるのか実態をつかむ。 ・相手意識を確認し、「だれに伝えるのか」を明確にして授業を進めるようにしていく。 ・読書など自分の力で読む力を育てていく活動を考えていく。</td> </tr> </tbody> </table>	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策	・読む活動では、音読に毎日取り組んだ。聴く活動は、クラスメートの発言をお互いが聴けるようにしたが、傾聴とまではいかなかった。・相手意識を持った活動に興味を持った時は、実現できるようにサポートをした。・食育の学習で、自分たちが課題と感じたことについて、解決策を探る学習に取り組む、積極的に関ろうと考え、保護者や地域の方へ発信することができた。				○
成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策									
・読む活動では、音読に毎日取り組んだ。聴く活動は、クラスメートの発言をお互いが聴けるようにしたが、傾聴とまではいかなかった。・相手意識を持った活動に興味を持った時は、実現できるようにサポートをした。・食育の学習で、自分たちが課題と感じたことについて、解決策を探る学習に取り組む、積極的に関ろうと考え、保護者や地域の方へ発信することができた。				○	・聴く前に、まず自分を認めてくれる人がどれだけいるのかという安心感がもてることから育んでいく。 ・その子の求めることほどこにあるのか実態をつかむ。 ・相手意識を確認し、「だれに伝えるのか」を明確にして授業を進めるようにしていく。 ・読書など自分の力で読む力を育てていく活動を考えていく。									

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
教育活動	意欲が持てる授業	自然・ひと・ものと関わり、問題解決をしていく授業づくり	児童の声に耳を傾け、一人一人の特性(個性)を理解し、それに応じた支援の場を作っているか。	・一人ひとりに応じた対応をし続けたことで、学校(学級)が落ち着いてきた。・児童の気持ちを理解したいと思って接しているが、うまくいかないときもある。				○	・一人ひとりをよく捉える必要がある。その際、大人(教師)の都合で子どもの姿を捉えてしまわないように配慮していく必要がある。
			言語活動の充実：自分の考えを、筋道を立てながら自分の言葉で伝える場面をつくっているか。	・話し合う活動がメインとなる時間を設けたことで、子どもたちだけで、話し合いができるようになった。 ・振り返りの場を大切に、発信する場を設けた。				○	・相手に伝えるだけではなく、相手に伝わるように表現力を高めたいける場を設定していく。 ・声の出し方が十分でない児童への支援をしていく。
			児童が見通しをもって主体的に授業に取り組めるよう授業の流れを示し、振り返りの時間を設定しているか。	・毎時間授業の流れ、活動を黒板等で示している。 ・ここぞという時を見極め振り返る時間をとることで形にこだわらない言葉が出てくるようになった。			○	・授業の内容を精選し、本時に学んだことを振り返る時間を設定していく。・まとめを自分の言葉で表せるように工夫していく。	
	認め合う学級	自尊感情を育て、自分の存在が認められる学級づくり	一人一人の自信(自尊感情)につながる振り返りの場を設定し、継続しているか。	・その子が成長したと感じられることを、言葉で伝えるようにしている。・常に振り返る場を設け、肯定的な言葉を毎日送ることができた。				○	・自分自身を振り返る場を設定していく。 ・より自尊心を持てるような活動を考え、取り入れていく。
			友だちとの協働を生み出す活動を設定する～長っ子タイムの充実～に取り組んでいるか。	・生活科では、自然と触れ合い、四季の素晴らしさを感じることを皆で共有し、グループ活動も取り入れ活動できた。 ・食というテーマを据えて活動することで、必要に応じて友を求め協働的に学ぶ姿が見られるようになった。				○	・どのタイミングで協働を仕組むのか考えていく。形だけの協働にならないためにも、教師の意図が明確に語れないといけない。
			子どもと対話し、子どもの様子を的確につかむために教育相談を学期に1回行っているか。	・学期に1回だけではなく、様子を見て、個人と話し合う時間を設けた。子どもとの何気ない雑談や対話をできるだけ多くとることを心がけた。				○	・教育相談の時だけではなく、常に児童と話ができるように声をかけたり、遊んだりする。 ・子どもの声、思いに耳を傾けていく。
	開かれた学校	学年を越えた関わりや地域との関わりを広げる学校づくり	家庭・学校・地域へ広がる あいさつ活動を進めているか。	・あいさつの意味を学級内でことあるごとに確認したが、自らすすんであいさつができない姿がある。				○	・教師自身があいさつに取り組んでいく。 ・児童会と連携して、全校体制で取り組んでいく。
			学年を越えて関わりあう活動に取り組む工夫をしているか。	・連学年や姉妹学級で取極祭等で協力して取り組むことができた。・積極的に関わり合う活動を仕組むことができなかった。				○	・昔の遊びを年間通して位置づけ、縦割りでやっていく。 ・感染対策を十分にこりながら、できる活動を増やしていく。
			長(自然・歴史(真田)・文化・伝統)に学ぶ体験活動や交流活動を取り入れているか。	・地域探検や総合の日の活動で、地域の様子を理解することができた。・生活科の時間で長(四季折々の自然)にふれ合い、思いきり楽しみながら活動することができた。				○	・コロナ禍でできなかった空想給食など交流の場を取り入れ、地域の方との交流がもてるようにしていく。
学校運営	情報の発信	学校だより、学年だより、ホームページ、学校メール等で、学校の様子を知らせているか。	・毎月の学校だよりと毎週の学年だよりを出すことで、子どもたちの様子を家庭や地域に伝えることができた。				○	・ホームページを随時更新し、地域にも発信していく。 ・子どもも保護者も読んだり見たりしながら、考えを巡らせる内容を心がけていく。	
		家庭との連携	連絡帳、電話連絡、訪問などで家庭との連絡を密にしているか。	・けがや病気等発生したときは、家庭に丁寧に連絡を取り、連携を密にしている。・ほぼ毎日連絡帳等で様子をお伝えした。欠席児童とは、オンラインで学習を行った。				○	・ケガや病気等の発生時には、迅速で丁寧な対応ができるよう連携を密にしている。・安心して児童が学校に通えるよう親の支援も行っていく。
			低・中・高別の学習の手引きを基に家庭学習の習慣化を図っているか。	・児童に応じて学習時間や内容を調節するようにしている。自主学習に取り組む児童が減少しており、なかなか習慣化できていない。				○	・あくまでも子どもの実態に基づいて、柔軟な対応をしていく。 ・家庭学習を行ってこない児童に対して、家庭と連携して支援していく。
危機管理	学校メールを活用したり見守り隊と協力したりしながら、児童の安全・安心を確保しているか。非違行為研修に取り組んでいるか。	・緊急で学級に周知したいことは、学校メールを活用した。 ・天候が不安定なときや不審者情報があるときは、見守り隊と協力しながら職員でも見守りを行った。				○	・非違行為については、同僚間で話し合い時間をさらに設定していく。・季節や状況に応じて、子どもたちが健康安全に気をつけて生活できるよう考えていく。		

○評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった